



日本テレビに設置したPOTEKA

日本テレビ番組内でPOTEKA気象データ活用

日本テレビ放送網株式会社から超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」の契約をいただいております。番組「news every.」の中で表示される気温・湿度・風の情報にPOTEKAのデータが活用されています。天気情報のコーナーで、日本テレビに設置しているPOTEKAを利用して日テレ・マイスタ前で天気状況を表示するなど、リアルタイムに気象情報が伝わるようになっています。皆さまお馴染みの番組を通してPOTEKAの気象情報が届きますので、ぜひご覧ください。

明星電気は、気象観測を行いたい場所にピンポイントで設置でき、さまざまな用途に活用可能なPOTEKAの気象データで、皆さまの安全・安心に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)



ラック内に設置したS704-FCP1

九州地方整備局の緊急地震速報受信装置更新

2020年3月、九州地方整備局に緊急地震速報受信装置(S704-FCP1)を納入しました。

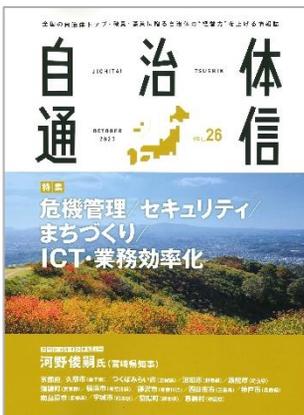
九州地方整備局内に設置したS704-FCP1から、九州各地の事務所、ダム管理所など、36箇所にも緊急地震速報が配信されます。さらにこれらの施設から国道維持出張所、河川出張所などに配信し、最終的には地方整備局本局から九州各所の緊急地震速報受信ユニット(S740、S740-P)129台に伝達される構成です。各地の緊急地震速報受信ユニットは、放送設備などと連動しており、緊急地震速報が素早く職員や訪問者へ伝達され、それぞれに早急な対応ができるシステムになっています。

明星電気の「揺れる前に知る」技術が、突然やってくる地震の脅威からみなさまの安全・安心を守ります。

(担当: 九州支店)



九州地方整備局



自治体通信2020年10月号表紙

自治体通信にPOTEKA掲載

自治体職員を中心に読まれている情報誌「自治体通信 2020年10月号」で、当社の超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」が紹介されました。

今回の特集「危機に備えて住民生活を守る」では、POTEKAを導入し水害に対する備えを強化している先進的な自治体として、「つくばみらい市」と「瑞穂町」の取り組みが紹介されました。つくばみらい市長および瑞穂町危機管理官へのインタビューを通じて、ユーザーから見たPOTEKAの良さについて書かれています。さらに当社社員へのインタビューでは、POTEKAの新サービス※についても紹介されています。

自治体の成功事例は貴重な情報であり、今後も他の自治体への防災対策強化に貢献すべくPOTEKAの販売拡大を推進していきます。

※気象庁の危険度分布(土砂災害・浸水・洪水)および国土交通省の6,700箇所の河川水位情報を、POTEKAの気象観測情報と併せてひとつの画面で閲覧できる新たなサービス

(担当: 気象防災事業部)

【文中: 敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。